平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月28日

上場会社名 アクモス株式会社　　上場取引所　東
コード番号 6888　URL http://www.acmos.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 飯島 秀幸
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員 経営企画室長　(氏名) 中川 智章　TEL 03-5217-3121

四半期報告書提出予定日　平成26年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	2,730	37.4	58	288.4	59	521.7	32	―
25年6月期第3四半期	1,988	△16.8	14	50.2	9	△67.4	2	△87.3

(注)包括利益　26年6月期第3四半期　38百万円　(―%)　25年6月期第3四半期　△1百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	3.35	―
25年6月期第3四半期	0.26	―

(注)当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり四半期純利益の金額は、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第3四半期	2,549	1,551	59.5
25年6月期	2,315	1,491	64.4

(参考)自己資本　26年6月期第3四半期　1,517百万円　25年6月期　1,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	―	0.00	―	100.00	100.00
26年6月期	―	0.00	―		
26年6月期(予想)				1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成25年6月期については、当該分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年 6月期の連結業績予想(平成25年 7月 1日～平成26年 6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	31.7	80	―	80	―	50	―	5.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 有
(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期3Q	10,215,400 株	25年6月期	10,215,400 株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	515,900 株	25年6月期	515,900 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期3Q	9,699,500 株	25年6月期3Q	9,699,500 株

(注)当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 6
４．四半期連結財務諸表 …… 7
（１）四半期連結貸借対照表 …… 7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
(継続企業の前提に関する注記) …… 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 11
(表示方法の変更) …… 11
(セグメント情報等) …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第３四半期連結累計期間(自　平成25年７月１日　至　平成26年３月31日)における我が国経済は、政府の経済対策による公共投資や設備投資の増加基調、消費税増税前の駆け込み需要による個人消費の増加がみられ、緩やかな景気回復傾向が続きましたが、平成26年４月からの消費税率引き上げに伴う景気悪化懸念もあり、先行きは依然不安定な状態が続いております。当社の主要事業である情報技術事業においても、企業のシステム更新や設備投資の再開などにより緩やかな回復が見られておりますが、市場内の競合や顧客からの単価引き下げ要求もあり、厳しい事業環境が続いております。

このような事業環境の中、当社グループでは当連結会計年度からの３カ年における中期経営計画を策定いたしました。この３年間を再生から成長、創造への期間と位置づけ、３カ年でサービス価値の向上を図り、持続的・創造的イノベーションを可能とする事業基盤を構築するとともに、安定収益の確保を目指してまいります。

我が国の社会インフラシステムは老朽化による更新需要が高まっております。また、情報サービス市場構造における「所有」から「利用」へのシフトに伴うクラウドサービスの市場規模拡大や、急速に普及が進むスマートデバイスのビジネスユース市場の拡大が見込まれております。当第３四半期連結累計期間では、前連結会計年度の平成25年６月１日に株式会社昭文社デジタルソリューションの事業の一部を吸収分割により取得し事業を開始したＡＳロカス株式会社(旧社名アクモス・アカウンティング株式会社)の業績が加わっておりますが、当社とＡＳロカス株式会社との間で人材交流を行うとともに、共同でスマートデバイスに関する製品開発を行い、業務における協力関係の強化も図っております。この製品開発にあたっては当社が「平成24年度補正　ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」に採択され、補助金を活用した開発を行っております。

当第３四半期連結累計期間の売上高はＡＳロカス株式会社の実績が加わったことなどにより前第３四半期連結累計期間(自　平成24年７月１日　至　平成25年３月31日)に比べ742百万円増加し2,730百万円(前第３四半期連結累計期間の売上高は1,988百万円、前年同四半期比37.4%増)となりました。株式会社エクスカルが営業損失となりましたが、営業利益58百万円(前第３四半期連結累計期間は営業利益14百万円、前年同四半期比288.4%増)、経常利益59百万円(前第３四半期連結累計期間は経常利益９百万円、前年同四半期比521.7%増)、四半期純利益32百万円(前第３四半期連結累計期間は四半期純利益２百万円)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

(ＩＴソリューション事業)

当第３四半期連結累計期間の期首より、ＡＳロカス株式会社が前連結会計年度の平成25年６月１日に吸収分割により取得した事業の業績が含まれております。

当社の当第３四半期連結累計期間の状況は、社会インフラシステムの開発案件を中心に受注が落ち込みましたが、東京地区を中心としたシステム運用案件の受注は順調に推移いたしました。

当第３四半期連結累計期間において、地方自治体のグループウェアの共同化をクラウド基盤で構築するコミュニティクラウド案件をiDC運営事業者との協業により初めて手がけました。今後もクラウドを基盤とした案件については注力してまいります。

ＡＳロカス株式会社では官公庁の保守・運用案件を中心に受注が堅調に推移いたしました。小口ながら多くの案件を確保することで強みを発揮したこと、リスクを考慮して大型案件を回避し外注を抑制したことで利益率が改善し、営業利益を確保いたしました。

当第３四半期連結累計期間では、当社のシステムインテグレーションのノウハウとＡＳロカス株式会社のGIS(注)ソリューションに関するノウハウを結集し、今後のスマートデバイスソリューションの展開を目指した開発を進めております。

当社において開発を行った通信指令システム(SYMPROBUS Fシリーズ)についてはCTI等を活用した特色を出して営業展開を図っております。ＡＳロカス株式会社とも協力し、スマートデバイスの開発提案を

絡めて営業活動を展開いたしました。

ＡＣＭＯＳソーシングサービス株式会社では、企業向けシステム開発、病院システムの構築案件を中心に順調に推移したことに加え、新規顧客との取引が加わり、前年同四半期の売上実績を上回りました。強みである医療システム分野を中心に社員教育を進め、業務知識の取得と技術力向上に努めました。

当第３四半期連結累計期間のＩＴソリューション事業の売上高はＡＳロカス株式会社が加わった要因により2,425百万円(前第３四半期連結累計期間の売上高は1,822百万円、前年同四半期比33.1%増)、営業利益41百万円(前第３四半期連結累計期間は営業利益21百万円、前年同四半期比93.4%増)となっております。

なお、平成25年７月１日付で、ＡＳロカス株式会社の発行済株式総数の19%を株式会社昭文社に譲渡いたしました。ＡＳロカス株式会社では株式会社昭文社と引き続き営業面での関係強化を図ってまいります。

(注) GIS:地理情報システム(Geographic Information System)

(ＩＴサービス事業)

株式会社エクスカルは、国内メーカーのスマートフォン製造からの撤退やAndroid OSの大きなバージョンアップがなかったこと、USB3.0の規格認証の立ち上がりが遅れていることもあり規格認定の事業環境は厳しい状態が続いております。当第３四半期連結累計期間においては、無線LAN機器の相互接続等第三者検証サービスの充実を図ってまいりました。ECHONET Liteについては認証テストとテストツールの販売を中心にサービス展開しておりますが、コンソーシアム主催イベントの事務局支援業務を受注し、顧客開拓を進めました。なお株式会社エクスカルは前連結会計年度の平成25年６月26日に100%子会社となったことから、前連結会計年度末で持分法適用関連会社から連結子会社となっております。

株式会社ジイズスタッフは、個々の案件は少額なものの、新規案件の受注が順調に推移いたしました。また、各種アンケート集計、模擬試験、社団法人の役員選挙の事務局業務等、既存顧客の案件も深堀り営業により売上高が前年同四半期より拡大いたしました。人員体制強化のために採用した従業員については教育を実施し、業務知識の向上を図りました。人員体制については引き続き人材採用を進め強化を図っております。営業面においては、各ソリューションに特化したwebサイトの展開とアウトバウンド営業によるPUSH型の営業体制の構築を進めました。

当第３四半期連結累計期間のＩＴサービス事業の売上高は357百万円(前第３四半期連結累計期間の売上高は231百万円、前年同四半期比54.9%増)、営業利益45百万円(前第３四半期連結累計期間は営業利益20百万円、前年同四半期比114.7%増)となっております。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ233百万円増加し、2,549百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が434百万円、仕掛品が36百万円増加した一方、現金及び預金が225百万円減少したことが主な要因であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ173百万円増加し、997百万円となりました。これは、未払費用が81百万円、前受金が26百万円、未払金が25百万円減少した一方、買掛金が92百万円、短期借入金が78百万円、１年内返済予定の長期借入金が19百万円、長期借入金が52百万円、賞与引当金が68百万円増加したことが主な要因であります。

なお、借入金の増加の主な理由は、ＡＳロカス株式会社の運転資金及び当社の受注案件に伴う資金需要に対するものであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、1,551百万円となりました。これはＡＳロカス

株式会社の株式売却によって発生した少数株主持分34百万円の増加及び四半期純利益32百万円並びに配当金９百万円が主な要因であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年８月２日付の決算短信で発表いたしました平成26年６月期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

前連結会計年度まで、部門の労務費のうち直接製造に携わらなかった部分の費用については販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、第１四半期連結累計期間より当該費用を売上原価として計上しております。これは、稼働率による製造原価の変動を排除し、売上高と売上原価の対応に関して経営成績の実態をより適正に表示するため変更するものであります。

これにより、当第３四半期連結累計期間の売上原価が92,872千円増加し、売上総利益及び販売費及び一般管理費がそれぞれ92,872千円減少しております。

なお、当変更について遡及適用しており、前第３四半期連結累計期間については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。これにより、前第３四半期連結累計期間の売上原価が87,834千円増加し、売上総利益及び販売費及び一般管理費がそれぞれ87,834千円減少しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,161,903	936,026
受取手形及び売掛金	414,718	849,641
商品	1,878	5,804
仕掛品	35,558	72,405
原材料及び貯蔵品	434	331
前払費用	44,068	42,381
短期貸付金	2,916	2,983
繰延税金資産	15,583	23,848
その他	38,485	13,006
貸倒引当金	△2,525	△3,206
流動資産合計	1,713,021	1,943,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	233,436	238,229
減価償却累計額	△123,416	△129,177
建物及び構築物（純額）	110,019	109,052
工具、器具及び備品	132,576	152,820
減価償却累計額	△61,465	△82,290
工具、器具及び備品（純額）	71,110	70,530
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	249,966	248,418
無形固定資産		
のれん	196,477	151,653
ソフトウエア	80,709	80,543
その他	1,481	39,236
無形固定資産合計	278,668	271,432
投資その他の資産		
投資有価証券	25,842	31,157
敷金及び保証金	41,179	41,170
長期貸付金	6,891	4,645
その他	297	9,635
貸倒引当金	△6	△4
投資その他の資産合計	74,204	86,604
固定資産合計	602,840	606,456
資産合計	2,315,861	2,549,678

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,513	160,803
短期借入金	80,000	158,348
1年内返済予定の長期借入金	38,750	58,344
未払金	108,062	82,863
未払費用	211,826	130,172
未払法人税等	10,705	25,301
賞与引当金	17,038	85,269
前受金	49,601	23,386
その他	35,423	20,571
流動負債合計	619,920	745,059
固定負債		
長期借入金	80,000	132,341
長期前受金	8,478	4,924
退職給付引当金	66,384	71,360
繰延税金負債	27,151	28,669
その他	21,949	15,425
固定負債合計	203,964	252,721
負債合計	823,885	997,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△330,302	△307,506
自己株式	△53,911	△53,911
株主資本合計	1,485,318	1,508,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,657	9,398
その他の包括利益累計額合計	6,657	9,398
少数株主持分	－	34,384
純資産合計	1,491,976	1,551,898
負債純資産合計	2,315,861	2,549,678

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年７月１日 至 平成25年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年７月１日 至 平成26年３月31日）
売上高	1,988,131	2,730,972
売上原価	1,436,386	1,994,836
売上総利益	551,744	736,136
販売費及び一般管理費	536,780	678,010
営業利益	14,964	58,126
営業外収益		
受取利息及び配当金	691	671
保険配当金	3,089	3,334
助成金収入	457	－
その他	1,435	1,807
営業外収益合計	5,674	5,813
営業外費用		
支払利息	3,116	3,963
持分法による投資損失	5,461	－
事業準備費用	2,413	－
その他	4	28
営業外費用合計	10,995	3,991
経常利益	9,642	59,949
特別利益		
子会社株式売却益	－	4,562
特別利益合計	－	4,562
特別損失		
固定資産除却損	78	97
特別退職金	480	4,384
特別損失合計	559	4,482
税金等調整前四半期純利益	9,083	60,029
法人税、住民税及び事業税	12,266	32,120
法人税等調整額	△162	△8,264
法人税等合計	12,103	23,855
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△3,020	36,174
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△5,548	3,678
四半期純利益	2,528	32,495

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年７月１日 至 平成25年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年７月１日 至 平成26年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△3,020	36,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,790	2,740
その他の包括利益合計	1,790	2,740
四半期包括利益	△1,230	38,915
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,318	35,236
少数株主に係る四半期包括利益	△5,548	3,678

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（連結貸借対照表）

前連結会計年度において流動資産の「未収入金」、無形固定資産の「電話加入権」及び流動負債の「預り金」は独立掲記しておりましたが、明瞭性を高める観点から表示科目の見直しを行い、第２四半期連結累計期間よりそれぞれ流動資産の「その他」、無形固定資産の「その他」及び流動負債の「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の流動資産の「未収入金」35,262千円は、流動資産の「その他」として、無形固定資産の「電話加入権」1,481千円は、無形固定資産の「その他」として、流動負債の「預り金」25,405千円は、流動負債の「その他」として組み替えております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成24年７月１日　至　平成25年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,756,990	231,140	1,988,131	―	1,988,131
セグメント間の内部売上高又は振替高	65,883	―	65,883	△65,883	―
計	1,822,873	231,140	2,054,014	△65,883	1,988,131
セグメント利益	21,327	20,978	42,305	△27,341	14,964

（注）　セグメント利益の調整額△27,341千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△27,312千円、その他の調整額△28千円を含んでおります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成25年７月１日　至　平成26年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,373,030	357,942	2,730,972	―	2,730,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	52,847	―	52,847	△52,847	―
計	2,425,878	357,942	2,783,820	△52,847	2,730,972
セグメント利益	41,238	45,029	86,268	△28,141	58,126

（注）　セグメント利益の調整額△28,141千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△28,209千円、その他の調整額67千円を含んでおります。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。